



2019年7月3日

日本鉄道労働組合連合会

ジェイアール・イーストユニオン

「第7回定期大会」開催

変革2019イーストイノベーション

「真の企業内労働組合」を築き上げ継承をめざす！

ジェイアール・イーストユニオンは、7月3日、田町交通ビルにおいて、第7回定期大会を開催し、2019年度の運動方針を満場一致で決定した。

冒頭、執行部を代表して挨拶に立った菅野一位中央執行委員長は、「JR東日本にある11の労働組合の中で、今将来を見据えた労使関係の構築は、30年間ぶれずに進んできた私たちにはしかできない。『変革2019イーストイノベーション』を掲げ、私たちは職場の中から会社がめざす変革された職場づくりに、信頼された労働組合として、会社とともに議論し真剣に取り組まなければならない。この1年がとても重要な年となる。イーストユニオンの絶対的な躍進と組織の継承にむけて一丸となって取り組もう」と力強く訴えた。

大会には、川合孝典参議院議員、井上英治春日部市議、JR連合から荻山会長と中山組織・政治部長などが出席し、それぞれ激励と連帯の挨拶を行った。

大会質疑では13人の代議員が業務課題や組織課題について発言し、また、昨年来加入したJR採用の仲間2名からも積極的な発言があった。

役員改選では、新たに菅井正和氏が事務局長に、国井道德氏が副委員長に就任した他、今回はじめてJR採用者4名が執行委員に加わった。

若い仲間も加わり、これからのイーストユニオンの躍進を想像させるような笑顔あふれる闊達な定期大会となった。

